

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 住民目線のデジタル活用の推進について （25分）</p> <p>政府は、2024年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに機能を一本化することを決めました。しかし、マイナンバーカードの交付率は本市において、本年10月末時点で48.4%と、50%に満たない状況です。取得手続きが面倒だと考えている人は少なくありません。また、個人情報の漏洩を心配している人も多くいらっしゃいます。有効性の周知や取得する人へ支援は、まだまだ必要です。</p> <p>人口減少や高齢化が進む中、デジタル技術を活用しての住民サービスは、今後、ますます増えることが推測されます。市役所の窓口は、住民にとって一番身近な行政との接点です。デジタル化を工夫して取り入れ、良質なサービスを提供することに努めていただきたいと思います。どこまでも住民に寄り添ったデジタル活用を行っていただきたく、以下、質問いたします。</p> <p>(1) マイナンバーカードの取得率について（年代別） (2) マイナンバーカード普及のための取組について (3) 市独自の自治体マイナポイントの考え方について (4) マイナンバーカードを利用して得られるサービスについて (5) デジタルデバйд対策の取組について</p>	市 長
<p>2 学校再編には十分な保護者の理解を （15分）</p> <p>鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画では、鶴ヶ島中学校と西中学校が令和9年に統合される予定となっています。市はこれまでに市民センターで市民説明会を開催し、周知を行ってきました。市から学校再編には、おおむね理解を得られたとの報告を市議会にいただきました。しかし、周知は本当に十分だったのでしょうか。子どもたちの未来を左右しかねない大切な問題です。保護者の方々が納得のいく学校再編になるよう、以下お伺いします。</p> <p>(1) 学校再編について保護者への周知方法は。 (2) 開校準備委員会の詳細と今後の進め方について (3) 学校再編に向けた保護者との関わり方について</p>	市 長 教育委員会教育長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p data-bbox="172 315 1114 405">3 9価HPVワクチンの定期接種化の対応について (10分)</p> <p data-bbox="165 421 1121 663">子宮頸がんの発症予防を目的としたHPVワクチンについて、本年4月より定期接種対象者への積極的勧奨が約9年ぶりに再開されました。また、接種の機会を逃してしまった方へのキャッチアップ制度も開始されました。これにより、ワクチンを接種する方が少しずつ増えています。</p> <p data-bbox="165 680 1121 976">2022年11月8日開催の厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会では、9価HPVワクチンを来年4月から公費での定期接種の対象とすることを決めました。現在、定期接種として使用できる2価や4価のHPVワクチンは、子宮頸がんの約70%を防ぐと言われていています。9価ワクチンは約90%の子宮頸がんを防ぐことが期待できるそうです。</p> <p data-bbox="197 994 855 1030">そこで本市の現状について以下、質問します。</p> <p data-bbox="185 1099 1121 1344">(1) 積極的勧奨再開で対象者へどのように周知をしましたか。 (2) 接種率の推移について (3) 9価ワクチンの効果や安全性について (4) 9価ワクチンが定期接種化された際の対象者への対応について</p>	市長